

詳徳中学校 学校だより

亀岡市立詳徳中学校

10月号

令和8年10月1日発行

文化祭スローガン 「天下夢奏～この瞬間が宝物になる～」

厳しい暑さもやわらいで、朝夕はずいぶん涼しくなってきました。先日は早朝に亀岡盆地特有の霧も発生し、ようやく爽やかな実りの秋を感じる季節になりました。

この秋、生徒たちの姿には目を見張るものがあります。10月1日(木)・2日(金)に開催する「文化祭」に向けて校内は活気と熱気に満ちています。本年度も3年生が「学級劇」と「学年合唱」を、1・2年生が「学級ごとの合唱」と「学年合唱」に取り組みます。リーダーを中心に「どんな姿を目指すのか」「そのために何をどのように頑張るのか」を話し合い、声を掛け合いながら練習を重ねてきました。思うように成果が出ないことに不安や苛立ちを感じたこともあったかと思いますが、日々の振り返りの中で出来たことを互いに評価し、少しずつ集団としての力を蓄えてきました。合唱の素晴らしさは単に美しい旋律を響かせることではなく、歌詞に自身の思いをのせて伸びやかに歌う姿、そして仲間の声に耳を澄ませ、心をついに奏でるハーモニーにあります。また、3年生の学級劇は、限られた準備期間の中で「自分たちのメッセージを観客にどう伝えるか」「それぞれが試行錯誤しながら役割をどう担っていくか」に、最終学年としての心意気や積み上げてきた自信、強い絆が見えてくると思います。先日、3年生の学年合唱の取組を観る機会がありました。指揮者を見つめ、ピアノの音色にこれまでの歩みや、未来への思いをのせて歌詞を紡いでいく姿と、体育館中に響く歌声は圧巻で、涙があふれそうになりました。いつも生徒に寄り添い、「本気で頑張る集団であろう」と声を掛け、共に頑張ってきた各学年の先生方の思いは、それ以上であると推察されます。そして、私も『チーム詳徳中学校』の一員であることを誇らしく思いました。

行事は生徒たちにとってかけがえのない『成長の場』です。「対話」によって自他の思いを知り、それぞれの良さを活かしながら目標に向かっていく・・・「子どもは子どもの中でこそ育つ」の理念のもと、今後も教育活動を進めてまいります。10月15日(木)には体育祭も予定しています。保護者の皆様、地域の皆様方には、生徒と教職員が共に喜び、感動し、汗して頑張る姿に声援を送っていただきますように、どうぞよろしくお願いいたします。

校長 國府 美幸

●亀岡市新人大会

○ソフトテニス

*男子の部

・団体 優勝

・個人 上級の部 優勝 治部田有・田原煌生
準優勝 中村斗璃・細川京祐
第3位 山河奏太・春畑潤弥
初級の部 優勝 小川翔大・松尾拓海
準優勝 田中光志朗・松本夏風

*女子の部

・団体 準優勝

・個人 上級の部 優勝 藤原和奏・武田彩葉
初級の部 第3位 松木千恵・滝沢花奈
第3位 加納珠李・橘優実

○バレーボール

○軟式野球

○ソフトボール

*女子の部 優勝

優勝

準優勝

○バスケットボール*男子の部 優勝

*女子の部 準優勝

○サッカー

準優勝

○卓球

女子団体の部 第3位

女子個人の部 第3位 岩城百祐

●京都府中学生ソフトテニス北部研修大会

・女子チャンピオンリーグの部 第3位

岡本葵、水谷雅美、藤原和奏、武田彩葉
大野結衣、河邊梨乃

・女子チャレンジリーグの部 準優勝

河島 夢梨、橘優実、加納珠李、滝沢花奈
久下三結、井川美結、浦野菜央

●全日本実業団対抗陸上競技選手権

混合4×100m 第8位

水原心花、田中彩羽、青山陽向、竹内絢都

令和8年度 全国学力・学習状況調査および京都府「学びのパスポート」の結果について ～「自律」と「共創」で育む、これからの学力～

今年度実施されました「全国学力・学習状況調査」(3年生)および京都府学力診断テスト「学びのパスポート」(全学年)の結果から、その概要と本校の今後の取り組みについて報告します。

1. 全体としての成果と強み

【着実な学力の伸び(基礎の定着)】京都府の経年調査(学びのパスポート)において、全学年・全教科で約6～8割の生徒が前年度よりもステップ(学力指標)を伸ばしており、日々の地道な学習の積み重ねが表れています。【「思考力・判断力・表現力」の大きな伸び】特に3年生の数学では、「思考・判断・表現」の正答率(65%)で全国平均(39.1%)を大きく上回る正答率でした。国語でも対話や記述(話す・聞く・書く)において高い成果が見られました。



【安心できる学校・学級集団】生徒アンケートでは、9割以上の生徒が「タブレット端末を使うことで考えを共有しやすい」と回答しています。また、1年生では9割近くの生徒が「学校に行くのが楽しい」と回答(全学年平均でも8割以上)しており、互いの考えを認め合える温かい学級の雰囲気が、日々の学びを支えていることが分かりました。

2. 調査から見えてきた本校の課題

- ① 答えの暗記にとどまり、「なぜそうなるか」を追究しきれていない可能性。
- ② 学習方法(まとめノートや間違え直しの工夫など)を自分で見い出せていない可能性。
- ③ 地域や社会との接点が少なく「失敗を恐れて一步を踏み出せない」傾向。

【本校研究方針「自律」と「共創」の実現に向けて】以上の成果と課題を踏まえ、本校では今年度、全教科・活動改善方針として「自律」と「共創」を掲げています。「SHOW-TALK(本校独自の対話プラットフォーム)」を足がかりとしての協働的な活動をはじめ、授業の終盤には「学んだことを自分の言葉で整理し直す時間」の確保を目指しています。また、教室内だけで完結せず、新聞を活用した学び(NIE)や地域の身近な課題を教材として取り入れ、「社会と地続きの学び」を実現するための授業改善を進めています。

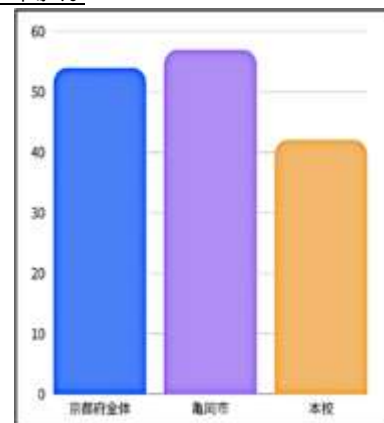
【ご家庭にお願いしたい働きかけ】子どもたちが未知の課題にぶつかったとき、失敗を恐れずに粘り強く乗り越える力は、教室の中だけでなく、「多様な人や社会と交わる経験」を通して育ちます。ぜひ、ご家庭でも次の3つの視点でお声かけや関わりをお願いします。

- ① 日常の会話の中で結論だけではなく、「どうしてそう考えたの？」とプロセスを聞く。
自分の頭で筋道を立てて説明する習慣が、暗記に頼らない力を育てます。

- ② 勉強の「時間」だけでなく「工夫(やり方)」を見る。

「間違えた問題をどう直した?」「ノートのまとめ方を変えてみた?」と、学習の方法(方略)を試行錯誤している姿勢に目を向け、励ましてください。各教科ではテストの結果だけでなく、授業で作成したレポートなどの成果物も返却しています。ぜひ子どもたちが残した「学びの足跡」もご覧いただけたらと思います。

- ③ 地域や社会の出来事に目を向け、家庭の外へ一歩踏み出す背中を押す。
調査では本校の生徒たちが「地域の行事や活動への参加」が府・市平均より低い傾向が見られます。ニュースの話題について家族で意見を交わしたり、自治会の行事・ボランティア・自主防災活動・清掃活動・近所の方への挨拶など、ほんの少しでも「外の世界」を見たり関わったりする機会を後押ししてあげてください。「地域社会に自分も関わっている」という実感や、多様な大人との関わりが、子どもたちの自己有用感と挑戦するたくましさを育みます。



▲「今住んでいる地域の行事に参加している。」に「あてはまる・どちらかと言えばあてはまる」と回答した生徒の割合

～10月行事予定～

1日(木), 2日(金) 文化祭
3日(土) カルチャーフェスティバル
6日(火) フッ化物洗口, 花いっぱい運動(土だし)
10日(土) ロ丹波駅伝大会
13日(火) 体育祭予行
15日(木) 体育祭(16日予備日)

17日(土)～ロ丹波新人大会
20日(火) フッ化物洗口, 花いっぱい運動
21日(水) 3年生校内学カテスト③
23日(金) 漢字検定
23日(金)～28日(水) テスト前部活停止
27日(火), 28日(水) 定期テストⅢ